

輝いている人を紹介します

# まちのキラリ

路面電車を偲ぶ会

会長

あんざい たけし  
**安齋 武** さん (伊達地域)

路面電車を偲ぶ会を立ち上げ、会長を務める安齋武さん。伊達を走っていた路面電車の魅力にとりつかれ、自ら撮影し多くの写真を保存している安齋さんに、魅力や活動を伺った。



## 路面電車を偲ぶ会

22年ほど前に地元の伏黒郵便局で路面電車の写真を展示する小さな写真展を開催したのをきっかけに定期的に開催していました。当時の郵便局長が新聞社に連絡し、珍しいものだったためか取り上げられ、県内外から多くの人が来てくれました。そのうちに同じ想いの仲間が増え、福島電鉄のOBなども加わり、15年ほど前に「路面電車を偲ぶ会」を立ち上げました。

現在の活動は、コラッセ福島で年数回の写真展や市内の交流館での写真展、小学校での紙芝居などの活動をしています。

## 路面電車との出会い

私の生まれ育った伏黒地区



## Profile ●あんざい たけし

1941年生まれ。根っからの電車好きで特に伊達地方を走っていた路面電車を数多く撮影し保存している。小さな写真展を開いたことをきっかけに同じ想いの仲間がいることを知り、その仲間を集い、15年ほど前に「路面電車を偲ぶ会」を立ち上げる。長きにわたり会長を務め、写真展や小学校での紙芝居など、路面電車を後世に伝えようと活動を続けている。

や、田んぼが伊達の駅前にあっただので、生まれてすぐに路面電車に出会い、常に生活にあるものでした。小さな頃から乗り物が大好きで、車もほとんど走っていない時代でしたので、自然と路面電車が好きになっていきました。頻繁に乗車することはできませんでしたが、親に連れられて、路面電車に乗って保原や掛田のお祭りに行くのが本当に楽しみでした。

## 路面電車の魅力を後世に

路面電車の魅力は、警笛やモーター音、レールの音です。警笛は足踏み式で、鍋を裏返したような鐘を叩き、カンカンと響く音は路面電車ならではの魅力です。保原町大立目から梁川町向川原までは専用線だったの



チンチン電車広場にある路面電車内でうれしそうに話す安齋武さん

で、モーター音が力強く、印象に残っています。いい話ではありませんが、ほとんどが道路と並行して走るので、道路の砂利がレールの上に乗ってしまいがちです。そこを走ると物凄い音がして、かわいそうだなと思って、とも覚えていきます。路面電車の延長は32<sup>キ</sup>ほどで全国でも屈指の規模を誇りました。当時の伊達地方がいかに栄えていて、交通の便が良かったのかわかると思います。

今後も写真展などは継続して伝えていきたいと思いますが、だんだんできなくなっていくことから、路線図や記念碑など形に残るものを作り、後世まで継承してほしいと思います。